

記入例

※こちらのページは、災害時に自力又は家族だけでは避難行動をとることが困難で、支援が必要な方に記入していただくものです。
(要介護認定を受けている方、障害をお持ちの方 等)

災害時における避難行動要支援者登録申請書 兼 登録台帳 (個別計画書)

秘

私が本台帳(裏面の防災世帯台帳を含む)により届け出た情報を、避難支援を目的として、平常時から自治会・町内会・自主防災会・民生委員・地域支援者・藤枝市・警察署・志太消防本部に提供することを承諾します。 令和〇年〇月〇日 本人氏名 **藤枝 太郎**

代筆者氏名 **藤枝 花子** (続柄等: **妻**)

1. 避難時に支援を必要とする本人の情報

対象者	1人目 氏名 藤枝 太郎 (ふりがな: ふじえだ たらう)	2人目 氏名 (ふりがな:)
身体等の状況	身障手帳 () 級 障害名 () 療育手帳 (A・B) 精神手帳 () 級 要介護 (1・2・3・ 4 ・5) 高齢者のみ世帯	身障手帳 () 級 障害名 () 療育手帳 (A・B) 精神手帳 () 級 要介護 (1・2・3・4・5) 高齢者のみ世帯
歩行・移動	自分で歩ける・他者の支えが必要・寝たきり・ 車椅子等使用	自分で歩ける・他者の支えが必要・寝たきり・車椅子等使用
避難支援等が必要な事由	(身体や介護等の状況) 認知症あり、左半身麻痺のため、日中は車椅子。常時おむつを使用している。	(身体や介護等の状況)
かかりつけ医療機関	名称 〇〇クリニック (TEL 054-643-XXXX)	名称 (TEL - -)
事業所	△△△サービスセンター (TEL 054-643-XXXX)	事業所 (TEL - -)
介護保険サービス	氏名 〇田 〇子 (TEL 054-643-XXXX)	氏名 (TEL - -)
	所属先 □□居宅介護支援事業所	所属先
障害福祉サービス	事業所 (TEL - -)	事業所 (TEL - -)
家族等の連絡先(緊急時)	氏名 藤枝 一郎 (続柄 長男) 住所 静岡県葵区〇〇町100番地 (TEL 054-2XX-XXXX)	
	氏名 岡部 静子 (続柄 長女) 住所 東京都〇〇区△△町1-15 (TEL 03-XXXX-XXXX)	

2. 避難支援計画

情報伝達方法・情報伝達の留意事項等(特に視覚・聴覚障害者)	本人・妻ともに高齢のため、地域支援者または近隣住民からの直接伝達が望ましい。
避難方法、避難誘導時・避難先での留意事項等(特に医療行為が必要な人)	杖または車椅子での避難に、周囲の支援が必要。
常備薬について(無・有 → 薬名)	常備薬について(無・有 → 薬名 降圧剤・ニトロ)
避難時の地域支援者 ※	1 氏名 △△ △△ 藤枝市 岡上山1丁目〇〇-〇〇 TEL 054-643-XXXX
	2 氏名 □□ □□ 藤枝市 岡上山1丁目〇〇-〇〇 TEL 054-643-XXXX
	3 氏名 〇〇 〇〇 藤枝市 岡上山1丁目〇〇-〇〇 TEL 054-643-XXXX

避難行動要支援者登録申請書 兼 登録台帳(個別計画書)についての問い合わせ先: 福祉政策課(643-3148)

【登録を希望される方へ】

この登録は、身近な地域の中でできる範囲の支援をするものです。
災害時に支援者が不在だったり、被災したりなど、災害時の状況により支援を受けることが困難となる場合が想定されます。
災害時の支援を必ずしも保障するものではないことをご理解ください。

「個人情報の提供・利用の承諾」について、支援が必要となる本人が署名してください。

※代筆する場合は、代筆者の氏名及び続柄も併せて記入してください。

どのような支援や配慮が必要か、地域の皆さんに理解してもらうために、現状をなるべく詳しく記入してください。

(その他の例)

- ・難聴のため、会話は手話
- ・週3回人工透析を受けている

など

県外・市外を問いません。必ず記入してください。

・地域支援者は必ず記入してください。

・隣組など身近な人なるべく複数選定していただくようお願いします。

・本人または家族が近所づきあいの中で、支援者を見つけてください。

・見つからない場合は、役員の方に相談し、協力してもらいましょう。

登録された情報は厳重に管理し、避難支援の目的以外には使用しません。

同じ世帯に要支援者が2人いる場合は、この欄に記入してください。

・本人又は家族の方は、避難生活において配慮してほしいことを記入してください。

・地域の皆さんは、登録の内容をもとに、どのような配慮が必要かを検討し、支援計画を立てておきましょう。

・要支援者の方は、情報が手に入りにくいことがあります。災害の発生や避難情報などを知らせる人を決めておきましょう。

(その他の例)

・車椅子生活のため、通路の確保が必要

・目が不自由なため、壁伝いに歩けるよう、壁際へ避難スペースを設ける

など

※地域支援者とは、災害に関する情報を伝えたり、一緒に避難する等の支援を心掛けていたことで、責任を伴うものではありません。